

完了報告書（平成 22 年度）

提出者 中山大将

提出年月日 2011 年 3 月 31 日

【プロジェクト名】

和文

ポスト冷戦期アジア社会主義圏の女性人口移動

英文

Female Migrations of the Socialism Countries in Asia during the Post Cold War

【メンバー構成】

研究代表者

幹事 中山大将

メンバー 李丹

【ねらいと目的】（600 字程度）

冷戦構造の解体（公共圏の再編成）は、アジア社会主義圏の新たな女性人口移動を生み出した。本研究は、ポスト冷戦期アジア社会主義圏における親密圏の再編成の様相を、女性を中心に把握し、公共圏の再編成のための実践的課題を抽出するために、以下のふたつを対象とする。

①サハリン残留日本人帰国者の研究（担当：中山）

ペレストロイカ以降、朝鮮人を夫としていた数百人のサハリン（樺太）残留日本人女性の永住帰国事業が始まった。残留・帰国日本人女性たちが、サハリンの家族と日本の縁者という二つの親密圏の間を揺れ動き、それによって生じた再編成の過程と、永住帰国の動機や帰国後に直面する問題を明らかにする。

また、国家、民族、地域（公共圏）の位相における受容・ケアなどの実践的課題についても考察を加える。サハリン残留日本人および帰国者については、文化人類学・民俗学的な研究があるのみで、本研究は初めての社会的調査研究となる。

②中国における農村出稼ぎ女性労働者・回流起業者の研究（担当：李）

改革開放以降の農村部から都市部への中国の出稼ぎ労働については、北京、上海などの大都市の男性労働者が中心に対象化されてきた。本研究は、これまで対象化されなかった中国農村女性の出稼ぎ労働・回流（J ターン）・起業という新たな動きをとらえ、市場経済（公共圏）の進展の中での家族や村落共同体（親密圏）の再編成の実態を明らかにする。

ともに、当事者と関係者からの聞き取り（ライフ・ヒストリー含む）・アンケート調査を計画している。

【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

①サハリン残留日本人帰国者の研究（担当：中山）

予算削減のため、独自の調査を行うことができなかった。このため、関連する科研費等の研究プロジェクト 6 件における調査データ・収集資料を本ユニットの趣旨に沿って再度、整理・統合・分析を行った。

②中国における農村出稼ぎ女性労働者・回流起業者の研究（担当：李）

以下、2 件の海外調査を行った。

- 1) 2010 年 7 月 30 日～9 月 7 日、中国河北省、農村地域の出稼ぎ女性労働者・回流起業者調査
- 2) 2011 年 2 月 9 日～20 日、中国河北省、農村地域の出稼ぎ女性労働者・回流起業者調査

【成果の概要】（800字程度）

①サハリン残留日本人帰国者の研究（担当：中山）

中山（2010）*は、日本帝国崩壊後の樺太・サハリンをめぐる人口移動を整理・総覧する試みであった。本研究ユニットでは、その各論として、サハリン残留日本人の帰国事業について論じた。「社会主義システム」を「公共圏」とおくこと―それは同時に、日本帝国の「植民地主義システム」を「公共圏」とおくことを含意する―により、国家、民族が重層的に折り重なった20世紀のサハリン・樺太史を統合的に把握する試論を提示できた。また、今後の課題として、帰国者の名簿の整理なども浮かび上がると同時に、そのためのNPO法人との連携体制も構築できた。

*中山大将、「帝国崩壊による樺太・サハリンをめぐる人口移動の形態および移動後の社会と経験」、蘭信三編『日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究』科研中間報告書（蘭信三「日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究」）、2010年9月1日、85-111頁。

②中国における農村出稼ぎ女性労働者・回流起業者の研究（担当：李）

下記の三つの課題をもって中国河北農村地域での調査を行った。

- ① 女性の非農業就業が農村社会にもたらす意義
- ② 女性の帰郷・再就業のプロセスの解明
- ③ 農村女性起業者の実像

従来、現代中国社会科学は、「都市―農村」の二分法によって来たが、本研究では、①後進農村②都市化されつつある農村地域③都市化された農村地域④地方都市⑤大都市、という区分から、主に②③を中心にアプローチした。都市部（④⑤）へ出稼ぎに行く若年女性の多くは、起業や結婚・育児などを目的とした帰郷を前提にしている。このように、これまでしばしば指摘されてきた出稼ぎ先での悪環境を理由とした「受動的帰郷」とは異なる「能動的帰郷」の存在が観察できた。



写真（左）：帰郷起業者の店舗

写真（右）：従業員募集の看板

【通信欄】

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	450（千円）	実績額 450（千円）

様式 2

最終成果報告書（ワーキングペーパー）のホームページ公開に関する許諾書

研究成果タイトル

ポスト冷戦期アジア社会主義圏の女性人口移動

グローバル COE プログラム「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」に提出する上記の最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）の PDF ファイルを同プログラムのホームページに公開することについて、下記のように返答します。

2011 年 3 月 31 日

最終研究成果報告書（ワーキングペーパー）

の執筆者全員のお名前（自署捺印）

記

許諾する。

部分的に許諾する。

許諾する部分を具体的にご記入ください。

Nakayama Taisho, “Returning of the Remaining Japanese Females of Sakhalin : Socialistic International Relation System and *Hanin* Intimate Sphere”

下記の理由により許諾しない。

調査対象者の個人情報保護のため

その他（具体的に理由をご記入ください）